

2013年2月25日

アスクルは、アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループによる
「自然林即時伐採停止」の方針を支持します。

アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ「森林保護に関する方針」発表に対する当社コメント

2013年2月5日、アスクルオリジナルコピー用紙の主要な製造委託先の一社である、アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ（以下、APPグループ）は、新たな「森林保護に関する方針」のもと、インドネシア国内の紙製品生産に関するサプライチェーン全体を対象とした、自然林の伐採を即時停止する計画を発表しました。アスクルは今回のAPPグループの発表を支持いたします。

その発表の主要項目は以下の通りです。

- ・すべての原材料供給会社が自然林の伐採を中止。
- ・泥炭林地を含む、すべての森林を保護。
- ・高炭素蓄積評価の実施。
- ・先住民族や地域コミュニティの権利のため、国際的な最善慣行を採用。
- ・NGOによる独立した監視。

今回の発表は、APPグループのこれまでの努力はもちろんのこと、お客様や環境NGOをはじめとする多くのステークホルダーの、継続的で強い要求により実現したものと当社は考えています。アスクルは、引き続きステークホルダーの意見に耳を傾けながら、購買企業としての責任から、今後もAPPグループとの取引を継続する中で、この計画が着実に進められ、成果が表れてくることについて、監視および支援を続けてゆく予定です。

これからもアスクルは、紙製品の調達方針をベースに、オリジナルコピー用紙のより一層の環境配慮を進め、各製紙会社との協力のもと、お客様に安心してご利用いただける商品をお求めやすい価格で販売してまいります。

APPグループの発表に関する詳しい内容は、以下のページをご覧ください。

<http://www.app-j.com/ecology/news/635.html>

<http://www.asiapulppaper.com/>（英語）

以上

アスクル株式会社